

時 間 午後2時00分～
会 場 全員協議会室

市長記者会見資料

- 1 デジタル地域通貨「桑都ペイ」スタート
～チャージ金額の30%がもらえるお得なキャンペーンを実施～
- 2 民間事業者と連携したリサイクルの取組
～ペットボトル水平リサイクル事業と不要品のリユース事業～
- 3 がんとの共生を支援
～ウィッグなどの購入費用を助成～
- 4 日本遺産関連情報
日本遺産フェスティバル開催に向け PR 事業を実施

デジタル地域通貨「桑都ペイ」スタート

チャージ金額の30%がもらえるお得なキャンペーンを実施

地域経済やコミュニティの活性化を図るため、市内の対象店舗での支払いに利用できる、本市独自のデジタル地域通貨「桑都（そうと）ペイ」を10月18日からスタートします。

今年度は、チャージ金額の30%（最大9,000円分）のポイントがもらえるお得なキャンペーンを実施します。

1 桑都ペイとは

「桑都ペイ」は本市独自の電子通貨です。スマートフォンの専用アプリを使って、1ポイント=1円として支払いに利用できます。

愛称は市内外の皆さんから公募したもので、本市の古くからの美称である“桑都”にちなんでおり、桑の葉をあしらったロゴマークが特徴です。



2 利用期間

令和5年10月18日～令和6年2月29日

※ 今年度は試行的な取り組みとなり、利用状況などを検証し、来年度以降の実施を決定します。

3 利用方法

(1) 「桑都ペイ」のアプリをスマートフォンにダウンロード

※ 10月中旬からダウンロード可能。右の二次元コードの桑都ペイ事業のホームページでご案内します。



▲桑都ペイ事業の
ホームページ

(2) コンビニ ATM やクレジットカードからポイントをチャージ

(3) 「桑都ペイ」アプリで店頭で設置された二次元コードを読み取る



4 利用可能店舗

右の二次元コードから利用可能店舗を確認することができます。

9月26日現在の登録店舗数は1,130店(随時募集中)



5 桑都ペイの活用

地域経済の活性化

地域経済の活性化を目的に、利用者がチャージ(購入)した金額の30%(上限額9千円)のポイントがもらえます。

利用期間:

令和5年10月18日~令和6年2月29日

チャージ上限:

1人30,000円(39,000ポイント)まで

コミュニティの活性化

ボランティアなどの地域活動への参加者やアンケート回答者にポイントをプレゼントするなどの取り組みを検討中。

→令和6年度(2024年度)以降、さらなる活用を目指します。

日本遺産フェスティバル等でキャンペーンも

この秋に開催する「八王子フードフェスティバル」や「日本遺産フェスティバル in 桑都・八王子」において、「桑都ペイ」のポイントを付与するキャンペーンを実施します。

6 アプリの登録や操作方法を支援する窓口も

「桑都ペイ」アプリのダウンロードや操作方法などの疑問にお答えする対面の窓口を市内4か所に設置します。

(1) 開設期間

令和5年10月18日~令和6年2月29日

(2) 設置場所

- JTB八王子北口店(旭町)
- 八王子オクトーレ2階(旭町) ※11月30日まで
- イーアス高尾2階(東浅川町)
- ガレリア・ユギ5階(南大沢二丁目)

7 利用方法などに関する問い合わせ先

「桑都ペイ」コールセンター 電話0120-256-148

(午前10時~午後6時。年末年始を除く)

<問い合わせ>

デジタル推進室主幹(デジタル基盤活用担当) 井上 電話042-620-7259

民間事業者と連携したリサイクルの取組 ペットボトル水平リサイクル事業と不要品のリユース事業

1 ペットボトル水平リサイクル（ボトル to ボトル）

ゼロカーボンシティや持続可能な循環型社会の実現を目指して、コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社と協定を締結し、家庭から収集した使用済みペットボトルを、新たなペットボトルの原材料とする「水平リサイクル（ボトル to ボトル）」を開始します。

（1）協定締結予定企業

コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社

（2）事業期間

令和5年（2023年）10月1日～令和6年（2024年）3月31日
（解除を申し出ない限り協定は自動延長）

（3）リサイクルの概算予定量

令和5年度 約 830t

令和6年度 約 2,000t

（4）水平リサイクルのメリット

■ CO2発生量の低減

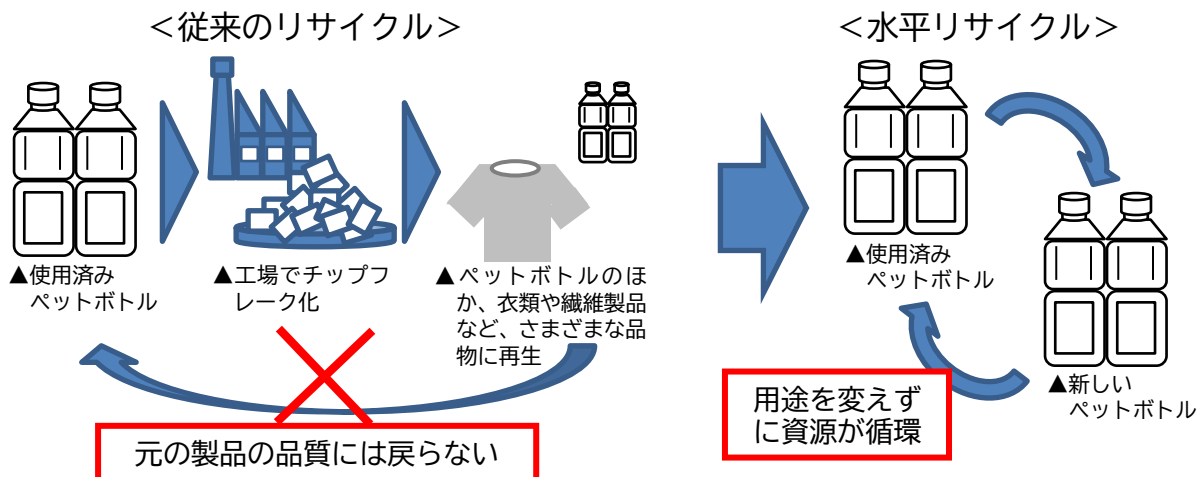
「ボトル to ボトル」リサイクルにより、新規に石油由来の原料を使用せずにペットボトルを製造するため、一般的なものと比較して二酸化炭素の発生量を1本あたり約60%低減する。

■ リサイクル量の増加

リサイクル事業者に合わせた合理的な選別基準とすることができ、これまで資源化不適物として選別後に焼却していたものの一部を資源化に回せるため、リサイクル量が増加し、リサイクル率も向上する。

■ 啓発効果

市民にとって、ペットボトルからペットボトルにリサイクルされることから、用途の説明が分かりやすくなる。また、協定のもとで、コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社と共に市内で環境教育を実施することで、市民へのペットボトル資源化への意識が高まることが期待できる。



2 不要品のリユース推進に向けた実証事業

株式会社ジモティーと連携し、不要となった再利用可能な品物を、ごみとして出す前に市民から受け取り、オンラインを活用して引き取りを希望する方へ有償または無償で引き渡す事業を再開します。既に過去2年間にわたって連携をしており、ノウハウのある同社と継続して取り組むものです。

本事業は、環境省の「令和5年度使用済み製品等のリユースに関する自治体モデル実証事業」に採択されています。

(1) 協定・契約締結予定企業

株式会社ジモティー

(2) 実施場所

北野環境学習センター「あったかホール」(北野町596-3) 1階
ジモティースポット八王子

(3) 実施期間

令和5年(2023年)10月6日～令和6年(2024年)3月31日

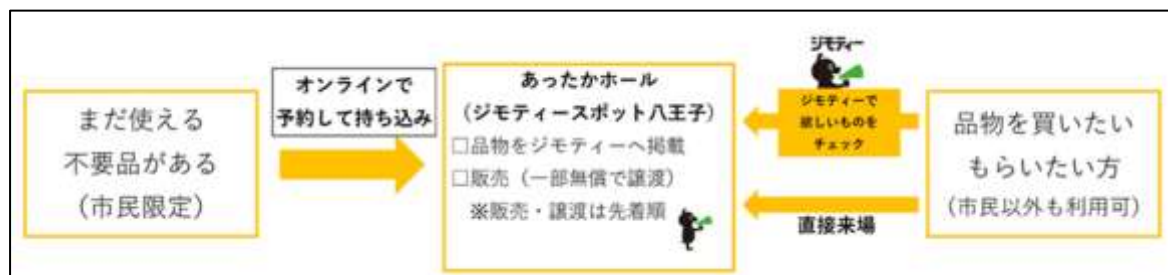
(4) 実施体制

令和5年 10月6日～11月30日	令和5年12月1日 ～令和6年3月31日
協定のもと、 株式会社 ジモティーに よる自主事業と して実施	市の委託事業として、 株式会社ジモティーに委託

(5) 事業内容(図「実証事業のフロー」参照)

- ① 市民が不要品をあったかホールへ持ち込み、ジモティーが再利用可能と判断した場合、無料で引き取る。
- ② 引き取った品物をジモティーに掲載し、あったかホールにて販売(一部無償にて譲渡)を行う。
- ③ 品物が欲しい方は、あったかホールで購入する。

■ 実証事業のフロー図



実証事業の詳細については、市ホームページをご確認ください。



がんと共生を支援 ウィッグなどの購入費用を助成

がんになっても、治療を受けながら地域社会で自分らしく生活できるよう、脱毛などのがん治療に伴う外見の変化に悩みを抱えている患者さんを支援するため、ウィッグや補整具の購入などにかかる費用の一部を助成します。

1 対象者

次の全ての項目に該当する方。

- (1) 申請日の時点で、八王子市に住民登録がある方
- (2) がんと診断され、その治療を行っている方、または過去にその治療を行った方。
- (3) がん治療に伴う脱毛や乳房切除により、ウィッグや胸部補整具を必要とし、購入またはレンタルした方。
- (4) 他の法令や事業等に基づく同種の助成を受けていない方。

2 助成内容

■ 助成対象品

- (1) ウィッグ等（ウィッグ装着時に皮膚を保護するために必要なネットや帽子を含む）
- (2) 胸部補整具（補整下着、シリコンパッド等）

■ 助成金額

上限5万円

■ 助成回数

対象者1人につき、1回（1点）

※ ただし、ウィッグおよび帽子で1回、胸部補整具で1回の申請が可能。

3 申請期限

助成対象品の購入日（レンタルの場合は、レンタル費用支払日）から1年以内

<日本遺産関連情報>

日本遺産フェスティバル開催に向け PR 事業を実施

11月4・5日の「日本遺産フェスティバル in 桑都・八王子」の開催に向けて、機運を醸成するためのPR事業を実施します。会場周辺に横断幕を掲げるほか、高尾山や、八王子城を紹介するイベントなどを開催します。市内各所の構成文化財を周知するとともに、日本遺産フェスティバルのPRを行います。

1 フェスティバル会場周辺エリアなどの装飾

フェスティバル会場の周辺エリアとなるJR八王子駅北口や、京王八王子SC、西放射線ユーロードなどに横断幕やフラッグなどを掲出し、約1か月後に迫る「日本遺産フェスティバル in 桑都・八王子」のPRを行います。

- 設置期間 11月6日までの約1か月間
- 設置内容 下表のとおり

設置場所等一覧

設置場所	設置物	設置数
JR八王子駅北口	階段広告	1か所
京王八王子SC（ショッピングセンター）	懸垂幕	1か所
JR八王子駅北口 マルベリーブリッジ	横断幕	約50枚
JR八王子駅北口 マルベリーブリッジ エレベーター	PRステッカー	3か所
JR八王子駅北口バス停前	フラッグ	約10枚
西放射線ユーロード	フラッグ	約35枚
東放射線アイロード	フラッグ	約20枚
れんが通り・富士見通り	フラッグ	約30枚
JR八王子駅南口とちの木デッキ	横断幕	1枚
	フラッグ	約10枚

※このほかに、市内の公共施設や郵便局、商業施設、JR線や京王線の主要駅などにポスターを掲出するとともに、京王線の車内や商工会議所などのデジタルサイネージを活用し、広く周知を図っています。

2 企画展「桑都はちおうじ絵巻」を開催

高尾山の錦絵や、八王子城跡出土レースガラス、八王子織物など、日本遺産のストーリーのテーマを象徴する資料を展示します。

- 日 時 10月7日～12月17日の午前10時～午後7時
- 会 場 桑都日本遺産センター 八王子博物館（はちはく）
- 費 用 無料

3 小田原北条氏誕生五百年記念 姉妹都市御城印を販売

本市と姉妹都市盟約を結ぶ小田原市（神奈川県）と寄居町（埼玉県）とともに、小田原北条氏誕生500年を記念した御城印を10月1日(日)から販売します（本市では「八王子城」のみを以下のとおり販売）。また、日本遺産フェスティバルでも販売します。

- 販売期間 10月1日～12月28日
※10月5・6日、12月22日は休館日。
- 販売場所 はちはく（桑都日本遺産センター八王子博物館）
- 販売価格 1枚300円

※「小田原城」の御城印は小田原市の小田原城天守閣で、「鉢形城」の御城印は寄居町の鉢形城歴史館でそれぞれ販売します。



▲3種の御城印を並べて飾れる台紙は、本市のホームページで公開

<問い合わせ>

- 1について、日本遺産推進担当課長 秋山 電話042-620-7434
- 2・3について、文化財課長 叶 電話042-620-7265

フェスティバル会場周辺エリアなどの装飾

横断幕・フラッグ設置場所



八王子駅北口周辺フラッグ掲出場所



横断幕・フラッグイメージ

▲東放射線アイロードに設置したフラッグ

デザイン① 横断幕・フラッグ



デザイン② 横断幕・フラッグ



デザイン③ 横断幕（長尺版）



デザイン④ 横断幕



横断幕・フラッグのデザインについて

「日本遺産フェスティバル in 桑都・八王子」の開催機運醸成と、市内外へのイベント周知のためキービジュアルをデザインし、開催をPRしています。今回、会場周辺エリアでの装飾は、このキービジュアルを活用したPRの一環となります。

キービジュアルについて

「織物のまち・八王子」から連想した織物の地紋を、「日本遺産」の赤と「桑都」の緑で配色しました。また左右には、市指定文化財「八王子神社扁額」に描かれた文字「八王子」の「八」をモチーフにした金地の形を配し、「日本遺産」と「桑都・八王子」を表現しています。

この背景に、生糸の原料となる繭玉と太さの異なる糸を描き、繭玉の中には構成文化財にまつわるイメージを配置して、本市の伝統・文化が紡がれていく様を表現しました。中央には、構成文化財「高尾山のムササビ」が飛び立つ姿をイメージしたシルエットに、タイトル「日本遺産フェスティバル in 桑都・八王子」を表示。全国104の日本遺産の未来への飛翔をイメージしています。

右下には、「日本遺産って何?」「全国から来るらしいよ」と、日本遺産フェスティバル開催に八王子市民として期待を寄せている姿を、天狗のお面をかぶった八王子観光PR特使「ニューロティカ」のあっちゃんが演出。フェスティバルの盛り上げに一役買っていただきました。

デザイン⑤ フラッグ



階段広告掲出場所



▲ J R八王子駅北口の階段広告